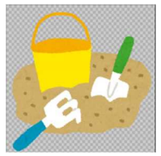
CASE 7
4歳児



砂が残った、おれの勝ち！

協力園
学校法人別府大学
附属幼稚園

（幼児の実態）

六月になって、自分から好きな遊びを見つけて遊び始める子どもが増えてきました。

砂場では、砂山の傾斜を利用して雨どいを並べて水を流したり、といの下にできた水溜まりを滝つぼに見立てたりと、水と砂が流れていく様や、砂と水の混ざり加減を楽しんでいます。

流れない砂にしたいね！

流れないよう砂を固めて、山にして

砂が残った！「やった！おれの勝ち！」

「長く　高くギュッ、ギュッ」「重いな」

砂山に組んだ5本の雨どい。高い所から水を流しています。「流れる水」と一緒に砂山を駆け下ります。

A児は「砂を入れるとどうなる？」水だけではなく、砂を加えた雨どいの中の流れに興味を示します。少量の砂は子どもの流す水でさっと流れていきます。砂の量を変えては水を流す「砂流し」を何度も楽しみます。

「流れた」「ざんねーん」そのうち、「砂を流したくない」思いが強くなった子どもたちです。

そして、「流れない砂」作りに挑戦し始めました。

流れない砂のために、最初に試みたのはといの中の砂の量を増やすこと、それでもバケツ一杯の水で流れていきます。5本のとい、1本分を砂で敷き詰めて水を流しても水の勢いでドロドロになって流れていきます。

次に挑戦したのは場所の変更。一番上のといに、水で固めた砂を盛り、手で固め二つの山を作り、その間に水を流します。結果、少しは残ったものの、二つの砂山は崩れ、ここでも水の勢いの方が勝りました。傍で見ていた保育者も「流れてしまったねぇ・・」と一緒に残念がります。

子どもたちの挑戦は留まるどころか、A児からは「山がくずれんようにしよう」、B児は「耐えられる山にしよう！」と顔を見合わせ、といの中に、水に負けない強固な砂山を再び作りはじめます。いつの間にか「耐えられる山」、砂自身になりきっている子どもたちです。

水に「耐えられる山」にするために、砂をたたいて固くしては砂を盛り、たたいては盛るを繰り返すB児、ひと塊ずつ握って固くして盛るA児、盛られた砂をスコップでたたいて固く山型にするC児、手でペタペタたたくD児。

雨どいの上部に集まり、固い砂山づくりにひたすら挑戦します。

「もう、いいかも」A児の声でペットボトルから水が流されます。果たして・・・水は、砂山と砂山の間に溜まり、苦心した砂山は残っています。水との勝負に勝った砂山を指し、自分が残ったかのようにA児「おれの勝ち！」続けてB児も「おれの勝ち」と喜び合います。

「耐えられる山」を成功させ満面の笑みの子どもたち。

さらに頑丈な砂山を作りたいB児は、「高く　長くギュッギュッ」と、その思いを表現します。下部を固めようと砂山を押し上げたA児は、「重い、めちゃ重い！」と重力感を言葉で表します。

砂場での体験は、子どもたちの素直な気持ちや声を言葉として表出させる姿も生み出しました。

これからも遊びの中で目的や願いに向かって、子どもたちは、どのような工夫や協力の姿を見せてくれるのかとても楽しみです。

事例から見られる10の育ち

自立心

雨どいに砂や水を流していた子どもたちは、水と砂の動きに着目し、「流れない砂」に目標を定める。砂の重みを知っている子どもたちはといの中に砂を敷き詰める。砂が流れてしまうと、といの上に場所を変え、山型の頑丈な砂山を作る。それでも流された砂に対し「耐えられる山にしよう」を合言葉に固める・盛る・たたく等、砂が堅固になる方法を駆使しながら流されない砂山をつくることに挑戦する姿が見られた。

流れてくる水は相手、受けて立つ「砂山」に自身が同化する子どもたち。水に流されず砂山は残った。自分が残ったのである。そこで、「おれの勝ち！」。達成感を喜び合う言葉が思わず表出されたと思われる。

事例から見られる10の育ち

協同性

砂場でといの水流し、水溜まりの感触をそれぞれに楽しむ二人であったが、砂と水の動きに興味を惹かれ「流れない砂作り」に共通の目的を持つ。といに砂を敷き詰めたり、砂山を作ったりと共同作業を始める。砂が流されるほどに二人の思いは強くなり「耐えられる山にしような！」と途中で意思確認しながら砂山を強固なものへと固めていく。水汲みの子も山作りに加わり、それぞれ工夫しながら目的に向かう。

砂を増やし水で固めることで「耐えられる山をつくる」共通の目的を果たせた。その喜びがさらに堅固な山作りへの意欲を高めていたと思われる。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿「１０の姿」

思考力の芽生え	**協同性**	**自立心**	言葉による伝え合い

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

自立心・協同性
環境構成のポイント

- 自分たちでイメージを実現できるような豊富な種類と数の道具の準備。
  砂山づくり水流しの道具　水を入れる容器
- 同じ目的に向かい、見通しをもって遊びを進められるような伝え合い、認め合う場の設定。
- 自分の思いや考えを伝えたり、考えを受け入れてくれたりする友だちの存在。